

令和5年度阿倍野区区政会議まちづくり部会(令和5年7月11日開催)でのご意見と対応一覧

- [分類]
- ①当年度(5年度)において対応
 - ②6年度に対応予定
 - ③6年度では対応できないが、今後引き続き検討
 - ④その他

番号	意見内容（公表）	対応（回答）	分類
1	【町会加入の促進方法について】 わたしの住んでいるマンションは昔は4階建てだったが、12階建ての高層になる際に、町会加入についてどのようにするか議論をし、ひとまず全員加入をしていただくということを決め、今日に至っている。加入することで何があるということを説明し、また集合体としての取組であることから、建物が維持できないという説明もさせていただいて加入の維持、役員も交代でやっていただいている。 阿倍野は今、空き地があるとマンションになる。そうなると全然町会に入られない。そんな流れができている。とりあえずは阿倍野式として、大阪の23区は別として、阿倍野だけでも、阿倍野式で強制的に自動的に町会に入ることを義務付けて欲しい。 一方で地域活動協議会と町会の話もあって、どう違うのか、と問われても回答できない町会長も多くいる。区としてどちらが大事なのか、行政としてどう考えているかお聞きしたい。 （高岡委員）	地域活動協議会という枠組みは、地域振興会を含む、各種団体が、地域の活性化や課題解決に取り組む地域運営の仕組みです。その中でも町会は、従来から最も重要な存在であり、比べるものではないと認識しています。 町会加入の促進については、広報紙において毎月加入促進の記事を掲載しており、ホームページでも掲載しております。今年度から各連合の紹介記事も掲載する取組を始めております。また、町会を紹介するチラシを「転入バック」に入れてお知らせしています。 大阪市全体で、町会加入の状況等を調査し、研究を進めていますので、阿倍野区としてもその動きを踏まえ、できることに取り組んでまいります。	④
2	【町会加入にかかるターゲットの見直しについて】 市の職員も阿倍野区に住んでいる方が結構いる。その方々お一人でもいいからせめて町会に加入することを念頭に置いていただくことが賢明かなと思う。行政の方がマンションの中で私は入ります、くらい積極的に入っていたら、加入促進のきっかけになるのではないかなと思う。 防災ジュニアリーダーの募集についても学校で募集するのではなく、地域の防災リーダーから直接声をかける、そのことによってその子のご両親が町会に加入していなかったら入ってもらおうという流れを作ることができるのではないかと提案させていただいたことがある。 また、文の里中学校との取組になるんですが、毎年、中学1・2年生の子供たちが地域清掃に入る。町会長が学校へ行き、ブラカードを持って、第一避難場所へ誘導し、周辺を清掃するというもの。8年くらい文の里中学校では取り組んでいるが、参加した生徒のご両親への町会PRにもなり、町会に加入された実績もある。 （高岡委員） ジュニア防災リーダーの子達を通じてご両親等にコンタクトを取って、一人一人に声をかけていって町会を手伝ってほしい、まずは興味を持ってもらう、そういう活動が大事だと思う。 （東野委員）	町会加入の促進については、従来のやり方だけでなく、例えば、防災ジュニアリーダーに参加している子どもたちのご家族に向けた発信や、地域に住む職員などターゲットを見直して、多様な発信を検討してまいります。	④
3	【町会加入のメリットについて】 町会加入のメリットは、加入していなければ隣近所しか挨拶することがないけれど、加入しているといろんな方と顔なじみになれると個人的には思う。また、顔見知りの関係になることで独居老人の方の非常事態の防止につながることもあるかもしれないと感じる。 町会に入ったらこんなメリットがありますよ、というのはあったとしても結局は役員をしてほしいと言われるだろうという恐怖心が絶対あると思う。でも、一度まずは参加してほしいということを伝えていく。まず、関係性を作っていく、どこに聞けばいいのか、などわかりやすくしていくことが必要。マンションの場合は、まず管理人さんがいるか、いないか、いたら、まずどんな人か、まず仲良くなっていくのが大事ではないかなと、ポイントではないかなと昨今感じる。 （東野委員） 町会の加入は親の世代からずっと加入していて当たり前のように思っていたけれど、子どもを産んでから特に思ったのは子供会というのがとてもよかった。 子供会に入っているおかげでマンションに住んでいても異年齢の子達とのつながりができて仲良くなれた。子供会の活動のおかげで知り合いも増えてよかったと感じている。 でも、单身の方はなぜ町会に入るのか理解できない、入らなくても困っていない、という方も多い。何がいい、ということがわかっていない、マンションでも必ず入らないといけないという仕組みがあれば広まっていくのかなと思う。 （岡本委員）	町会に加入した際にどんな役割があるのか、どんなメリットがあるのか、ということがわかるツールがあれば加入促進の取組を実際にさせていただきやすいのではないかと考えています。来年度に向け、地域のみなさまと連携して取り組んでまいります。	②
4	【あべのカーニバル・あべのスポーツフェスタの開催方法について】 あべのカーニバルやスポーツフェスタについて、毎年同じ会場で開催されているが、開催地を変更してはどうか。 また、スポーツフェスタの昼休憩の時に民謡等を実施しているが、もっと踊り等をしたと思っている方もいると思うので、予算の問題もあるが、例えば、天王寺高校を第一会場、隣にある文の里中学校を第二会場として会場を分けてもいいのではないかと。 （東野委員） あべのカーニバルの会場で出店する方だけでなく、ご自分の店舗でもあべのカーニバルを行っているような形で担い手として関わってくれたらいいなと思った。 （大森委員） 町会や地域の方だけでなく、お店の方がもっと出店してくれたら新しいカーニバルになると思う。そうすることにより、子供やファミリー、若い世代や単身の方等が交わるカーニバルになるのではないかと考える。 （岡本委員） スポーツフェスタもカーニバルと同様に複数の場所で開催する等、開催場所については、議論していくことは必要だと考える。 （高岡委員）	今年度のあべのカーニバルは、阿倍野区民センター及びやすらぎ天空館で開催いたします。開催場所を変えることで、良かった面が損なわれないようあべのカーニバル実行委員会で議論いただいています。 令和6年度に向けて、あべのカーニバルやスポーツフェスタの開催地及びプログラムについては、引き続き実行委員会で議論してまいります。よりよい事業を実施できるよう、みなさまの意見をいただき、検討してまいります。	②
5	【おさんぽマップの配架について】 「おさんぽmap」や「おさんぽmap外国語版」をもっとPRすべき。「おさんぽmap外国語版」は外国人向けの案内所など置くというのではないかと。また、交通機関としてJR天王寺駅や鶴ヶ丘駅。鶴ヶ丘駅は長居スタジアムがあるので観客に周知できると思う。 （東野委員） スタンプラリーは、大人も子供も、押したくなるので、いい取組と思う。どこに置いてるか分かればもっと手に取ってもらえると思う。 近鉄百貨店などは、外国語版を置いてもらったらいいいと思う。 （岡本委員） おさんぽマップのPRの場所としては、宿泊施設に置いたらいいのではないかと。 （大森委員） 阿倍野区内にマップがどこにあるか場所がなかなか分からない。これから万博に関して、おさんぽマップや外国語版をどういったところに置いていこうとしているか。 （高岡委員）	現在、阿倍野区役所、区民センター、天王寺サービスカウンターをはじめ、天王寺ミオ、キューズモール、あべのハルカス、区内の鉄道駅等で配架しております。また、区外では、関西空港や梅田・難波の観光案内所にも置いております。 設置場所の周知については、ホームページやSNSで発信を進めてまいります。 今回のご意見をふまえ、外国語版も含めて、宿泊施設やその他集客施設にも設置依頼をしてまいります。さらに、スマートフォンでデジタルマップも常に見ていただけるようにしています。 外国語版のデジタル化についても研究してまいります。併せて万博に向けては、「AbenoExpo2023」等の機運盛り上げイベントや地域のイベント等でもPRしてまいります。	①
6	【おさんぽマップのPR方法について】 PRの方法について、30秒で分かるような短い動画がいいと思う。 冊子は情報をすぐに更新できないが、動画やSNSで補足や訂正、追加ができ、冊子と動画の内容をリンクさせたり、マップの使い方動画があればよい。マップにQRコードをつけて使い方を載せる動画に誘導させるといいのでは。 （岡本委員）	マップの使い方等の紹介動画を作成し、QRコードにして最初のページに掲載するなど、引き続き充実してまいります。	②